

令和２年度 第７４回 郡山市立行健中学校入学式 校長式辞

例年より早い桜の開花も聞かれるこの春の佳き日に、歴史と伝統あるこの行健中学校の校門をくぐられ、先ほど呼名をされた１４４名の新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。

また、保護者の皆様におかれましても、お子様の健やかな成長と新しい制服に身を包まれた晴れやかな姿を目の当たりにされ、お喜びもひとしおのこととご推察申し上げます。

教職員、在校生一同、お子様のご入学を心より歓迎いたします。

さて、新入生の皆さん、皆さんは、どんな気持ちで今日の入学式を迎えられましたか。

これまで慣れ親しんできた小学校と、校舎も、先生方も、友達も、そして学習内容や、生活のリズムも何もかもが大きく変わることへの期待と不安の入り交じった気持ちというのが正直なところでしょうか

でも、安心してください。行健中学校は、皆さんの教育に直接携わる教職員も、また、一足先に中学生になった皆さんの多くの先輩も、全員が、皆さんを温かく迎え、優しく導いていく準備を整えています。どうぞ安心して思い切り中学校生活の一步を踏み出してください。

中学校三年間は長い人生の中でも、最も大きな成長を遂げる三年間です。三年後の１５歳の時には、身体も考え方も今とは見違えるほど大きく変わっているはずです。

かつて、中国の思想家である孔子は、論語という彼の書いた本の中に

「我十有五にして学に志し」

と記し、自分が１５歳の時に将来自分は学問で身を立てると決めていたのです。１５歳と言えば、まさに、皆さんの３年後、中学校３年生になったときと同じ年齢です。行健中学校での３年間で、将来の夢や希望を見つけてほしいと思います。３年後、ぜひ、皆さんの見つけた将来の夢を、理由とともに聞いてみたいと思います。

行健中学校では、「たくましく生きる自立した生徒を育成する」自主、自律、共生、健康を教育目標に掲げるとともに、併せて「凡事徹底」を大切にして、日々の教育活動を進めています。「凡事徹底」とは人との挨拶であったり、人の話を聞くことであったり、身の回りの整理整頓であったり、当たり前前を当たり前前に、確実に行うということです。

このことは簡単なようで、実はなかなか実行するのは難しいのですが、とても大切なことなのです。それは、毎日の当たり前前ができて、大きな夢や目標の達成はできないからです。ぜひ今日から、「凡事徹底」を意識して生活してみてください。

保護者の皆様、私ども教職員一同、一旦お子様をお預かりしたからには、最後まで責任を持って、お子様の教育に携わり、質の高い教育を提供し続ける覚悟であります。

その際、必要不可欠なことは、保護者の皆様のご理解とご協力です。ぜひ、私どもの教育方針をご理解いただき、お互い同歩調で、子どもたちの健やかな成長を支援して参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルスに係るこのような状況下での学校再開には、さぞご不安も大きいことと存じます。本校におきましては、教育委員会や保健所など関係機関との連携を十分に図りながら、教職員による毎日の校舎の消毒作業など、生徒の安全を最優先に、今できる最善の感染予防策を講じながら、教育活動を再開して参ります。平時と比べて、一定程度制限された教育活動にならざるを得ない一面もありますが、どうぞご理解ご協力をお願いいたします。

結びに、144名の新入生の未来が輝かしいものになることをご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和二年四月六日
郡山市立行健中学校長
早崎 保夫